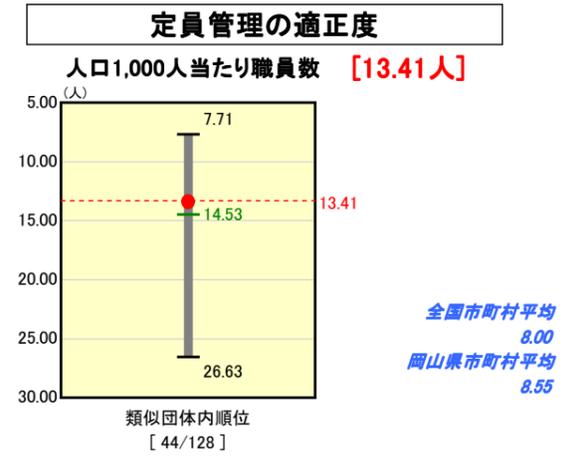
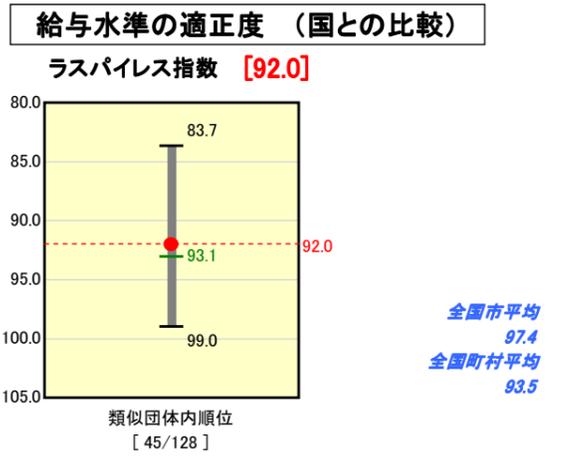
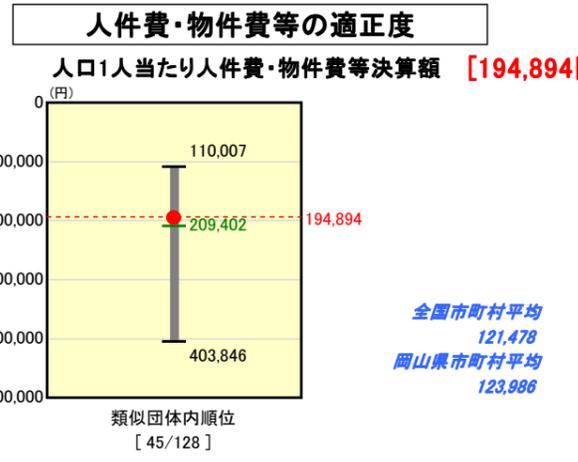
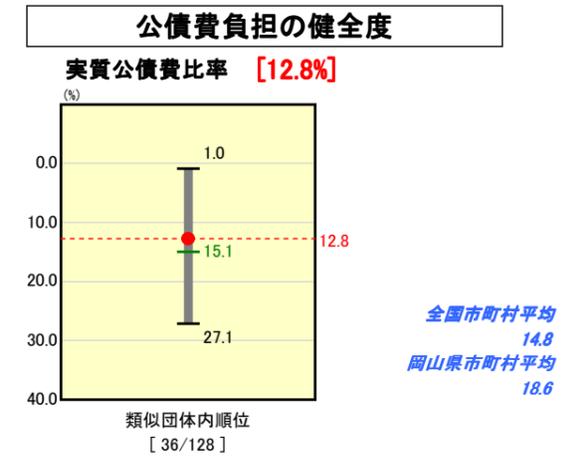
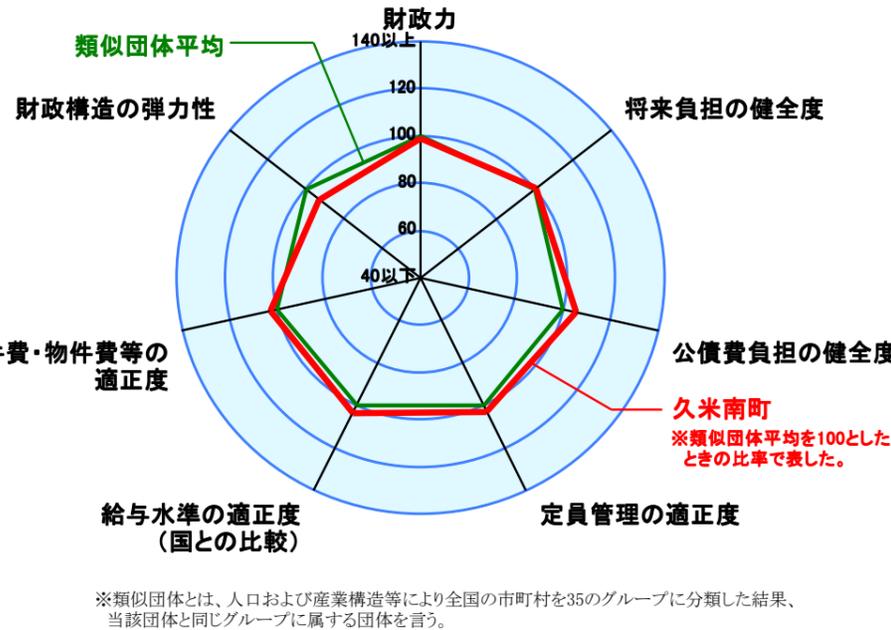
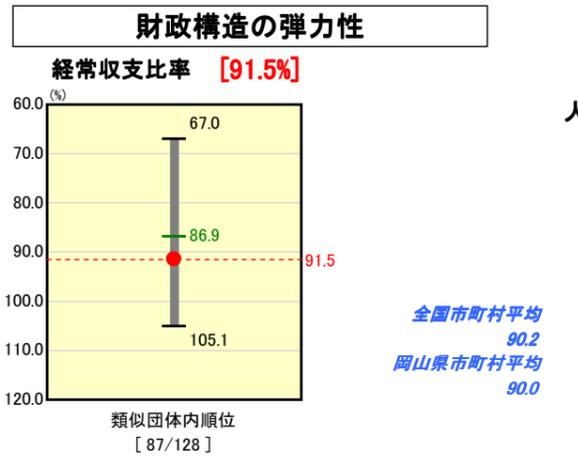
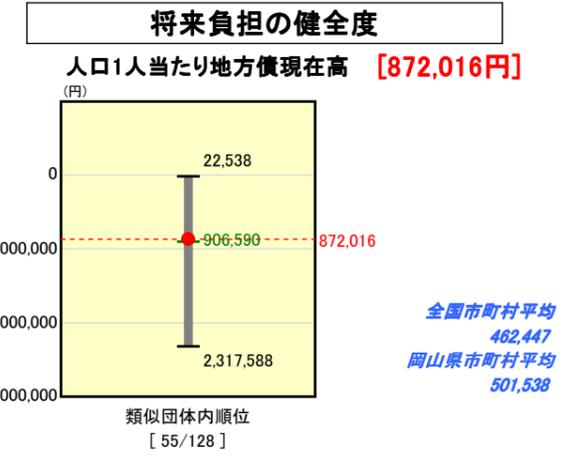
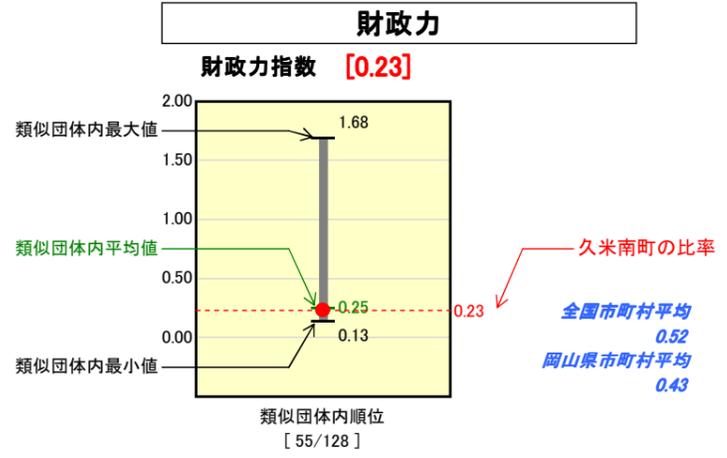


市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

岡山県 久米南町

人口	5,889人	(H18.3.31現在)
面積	78.60	km ²
歳入総額	3,675,561	千円
歳出総額	3,547,080	千円
実質収支	128,481	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数 : 人口の減少や全国平均を上回る高齢化率(17年度末36.3%)に加え、町内に中心となる産業がないこと等により、財政基盤が弱く、類似団体平均を若干下回っている。

経常収支比率 : ゴルフ場建設に係る特別土地保有税を16年度に解除し一時的に104,000千円の歳入があったが、17年度にはないため、経常収支比率は悪化した。また、経常的歳出のうち充当した一般財源が増加したものは、社会保障費の増額に伴う、老人保健、介護保険特別会計への繰出金、物件費は、戸籍電算化に伴う機器類の使用料の増加などによる。

人口1人当たり地方債現在高 : 類似団体に比較して、若干下回っているが、今後控えている大規模な事業計画の整理・縮小を図るなど起債発行には充分留意する必要がある。

実質公債費比率 : 類似団体に比較して、若干下回っている。今後、下水道事業に係る元利償還金の増加が見込まれるため上昇が予想される。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額 : 類似団体に比較して、若干下回っている。主な要因は人件費で、16年度末退職者6名に対し不補充と人件費・物件費減額し、17年度から収入役を置かないこととしたため。

ラスパイレス指数 : 類似団体に比較して、若干下回っている。12年度から5年間の定員適正化計画に基づき定数管理し、17年度から管理職手当の3%引き下げ、特殊勤務手当の一部見直しを行った。

人口1,000人当たり職員数 : 過去からの新規採用抑制により、類似団体を下回っている。今後職員数については、行政改革大綱に定める行政改革実施計画で、17年度から22年度当初までの5年間で5人(△5.8%)の純減を目標とする。